



特長と機能

パッチには、新機能、機能、および緊急の問題または解決済みの問題に関連する動作の変更が含まれています。

- [Firepower Management Center 展開に関する機能 \(1 ページ\)](#)
- [Firepower Device Manager 展開の機能 \(2 ページ\)](#)
- [侵入ルールとキーワード \(2 ページ\)](#)
- [FMC の How-To ウォークスルー \(2 ページ\)](#)
- [シスコとのデータの共有 \(4 ページ\)](#)

Firepower Management Center 展開に関する機能

バージョン 6.6.x パッチには Firepower Management Center 展開に関する新機能または廃止された機能はありません。



(注) バージョン 6.6.0/6.6.x は、Cisco Firepower User Agent ソフトウェアをアイデンティティソースとしてサポートする最後のリリースです。ユーザーエージェント設定を使用して Firepower Management Center をバージョン 6.7.0 以降にアップグレードすることはできません。Cisco Identity Services Engine/Passive Identity Connector (ISE/ISE-PIC) に切り替える必要があります。これにより、ユーザーエージェントで使用できない機能も利用できるようになります。ライセンスを変換するには、シスコの担当者またはパートナーの担当者にお問い合わせください。

詳細については、『[End-of-Life and End-of-Support for the Cisco Firepower User Agent](#)』 [英語] の通知、および『[Firepower User Identity: Migrating from User Agent to Identity Services Engine](#)』 [英語] の技術メモを参照してください。

Firepower Device Manager 展開の機能

バージョン 6.6.x パッチには Firepower Device Manager 展開に関する新機能または廃止された機能はありません。

侵入ルールとキーワード

アップグレードにより侵入ルールをインポートして自動的に有効化が可能です。

侵入ルールを更新 (SRU) すると、新規および更新された侵入ルールとプリプロセッサルール、既存のルールに対して変更された状態、および変更されたデフォルトの侵入ポリシーの設定が提供されます。現在のバージョンでサポートされていないキーワードが新しい侵入ルールで使用されている場合、SRU を更新しても、そのルールはインポートされません。

アップグレードし、これらのキーワードがサポートされると、新しい侵入ルールがインポートされ、IPS の設定に応じて自動的に有効化できるため、イベントの生成とトラフィックフローへの影響を開始できます。

サポートされているキーワードは、Snort のバージョンによって異なります。

- FMC : [ヘルプ (Help)] > [バージョン情報 (About)] を選択します。
- FDM を使用した FTD : **show summary** CLI コマンドを使用します。
- ASDM を使用した ASA FirePOWER : [ASA FirePOWER 設定 (ASA FirePOWER Configuration)] > [システム情報 (System Information)] を選択します。

また、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』の「Bundled Components」の項で Snort バージョンを確認することもできます。

Snort リリースノートには、新しいキーワードの詳細が含まれています。<https://www.snort.org/downloads> で Snort ダウンロードページのリリースノートを参照できます。

FMC の How-To ウォークスルー

デバイスのセットアップやポリシー設定などのさまざまな基本タスクについて順を追って説明する、FMC に関するウォークスルー (How-To と呼ばれる) が導入されています。ブラウザウィンドウの下部にある [How To] をクリックし、ウォークスルーを選択して、手順ごとの説明に従って操作します。



- (注) FMC ウォークスルーは Firefox および Chrome ブラウザでテストされています。別のブラウザで問題が発生した場合は、Firefox または Chrome に切り替えてください。問題が解消されない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

次の表に、一般的な問題点と解決策をいくつか示します。ウォークスルーは、右上隅の [x] をクリックするといつでも終了できます。

表 1:ウォークスルーのトラブルシューティング

問題	解決方法
ウォークスルーを開始するための [How To] リンクが見つからない。	ウォークスルーが有効になっていることを確認します。ユーザー名の下にあるドロップダウンリストから、[User Preferences] を選択し、[How-To Settings] をクリックします。
ウォークスルーが予期しないタイミングで表示される。	ウォークスルーが予期しないタイミングで表示される場合は、ウォークスルーを終了します。
ウォークスルーが突然消えたり終了したりする。	ウォークスルーが消えた場合は、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> ポインタを移動します。 FMCで進行中のウォークスルーが表示されなくなることがあります。たとえば、別のトップレベルメニューをポイントすると表示されなくなります。 <ul style="list-style-type: none"> 別のページに移動して、もう一度やり直してください。 ポインタを移動しても表示されない場合は、ウォークスルーが終了している可能性があります。
ウォークスルーがFMCと同期していない。 <ul style="list-style-type: none"> 誤った手順から開始される。 進行が早すぎる。 先に進まない。 	ウォークスルーが同期していない場合は、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> 続行します。 たとえば、フィールドに無効な値を入力してエラーが表示された場合は、ウォークスルーが先に進行することがあります。戻ってエラーを解決してタスクを完了することが必要になる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ウォークスルーを終了し、別のページに移動してもう一度やり直します。 場合によっては続行できないこともあります。たとえば、手順の完了後に [Next] をクリックしないと、ウォークスルーの終了が必要になる場合があります。

シスコとのデータの共有

Web 分析トラッキング

バージョン 6.2.3 では、Web 分析のトラッキングは、これに限定されませんが、ページでの操作、ブラウザのバージョン、製品のバージョン、ユーザーの場所、FMC の管理 IP アドレスまたはホスト名を含む、個人を特定できない使用状況データをシスコに送信します。

デフォルトで Web 分析トラッキングに登録しています（バージョン 6.5.0 以降の EULA に承諾すると、Web 分析トラッキングに同意したことになります）。ただし、初期設定完了後はいつでも登録を変更できます。



-
- (注) バージョン 6.2.3 から 6.6.x にアップグレードすると、Web 分析トラッキングに登録される可能性があります。登録は、意図的に登録解除した場合でも行われる可能性があります。このデータの収集を拒否する場合は、アップグレード後に登録解除してください。
-

Cisco Success Network

バージョン 6.2.3 では、Cisco Success Network は、テクニカルサポートを提供するために不可欠な使用状況に関する情報と統計情報をシスコに送信します。

初期設定およびアップグレード中に、登録するか尋ねられます。登録はいつでも変更できます。

Cisco Support Diagnostics

バージョン 6.5.0 以降では、Cisco Support Diagnostics（「シスコのプロアクティブサポート」とも呼ばれる）は、設定および運用上の健全性データをシスコに送信し、自動化された問題検出システムを通じてそのデータを処理して問題をプロアクティブに通知できるようにします。また、この機能により、Cisco TACTAC ケースの過程でデバイスから必要な情報を収集することもできます。

初期設定およびアップグレード中に、登録するか尋ねられます。登録はいつでも変更できます。



-
- (注) この機能は、Firepower Management Center およびそこで管理される Firepower Threat Defense デバイスでサポートされます。バージョン 6.5.0 でのみ、FTD サポートは、FTD 搭載 Firepower 4100/9300 および Azure 向け FTDv に制限されます。この機能は、Firepower Device Manager ではサポートされていません。
-